

バイオクリーン

BIOCLEAN® disinfection of suction system

吸引システムの洗浄除菌

特性

デュールデンタル・ハイジーンシステムのバイオクリーンは全ての歯科用吸引システム及びアマルガム／重金属分離器の除菌、洗浄、消臭を同時に行うのに非常に効果的な濃縮液です。選りすぐりの除菌、洗浄剤を使用しているため材質や環境に優しく、泡を立てずに高い洗浄力を発揮します。バイオクリーンで毎日除菌・殺菌を行うことで、病原菌や汚れ（血液や唾液、アマルガムや象牙質の粉じんなど）が特に目立つ場合にも吸引システムを技術的、衛生的に使用することができます。

成分

バイオクリーンは第4級アンモニウム化合物、アルカリ洗浄剤、錯化剤、特殊消泡剤、補助剤を含む水溶液です。100g当たりのバイオクリーン含有成分：8.8g塩化ジオクチルジメチルアンモニウム50%、1.2g塩化ベンザルコニウム50%。

細菌学的効果

バイオクリーン（オトロプラス）はバクテリア、結核菌、真菌類、ウイルス（作用限定：B型・C型肝炎、HIV、ワクシニアウイルスなどのエンベロープ（脂質膜を持つ）ウイルスとアデノウイルス、ノロウイルスなどの非エンベロープ（脂質膜を持たない）ウイルス）に対して効力を発揮します。VAH（ドイツ応用衛生協会）/DGHM（ドイツ防疫協会）認定証取得、ÖGHMP（オーストリア防疫協会）認定証取得、IHO（ドイツ衛生および表面保護商業協会）認定証取得基準EN13727、EN13624、EN14348、EN14561、EN14562、EN14563、EN14476に従って検査済み



特徴

- 歯科用吸引システム及びアマルガム／重金属分離器の除菌、洗浄、消臭を同時に行うのに非常に効果的な濃縮液です
- 幅広い作用範囲：バクテリア、結核菌、真菌類、ウイルス（作用限定：B型・C型肝炎、HIV、ワクシニアウイルスなどのエンベロープ（脂質膜を持つ）ウイルスとアデノウイルス、ノロウイルスなどの非エンベロープ（脂質膜を持たない）ウイルス）
- 現行のDGHM（ドイツ防疫協会）規定、欧州規格に準拠
- VAH（ドイツ応用衛生協会）/DGHM（ドイツ防疫協会）認定証取得、ÖGHMP（オーストリア防疫協会）認定証取得
- 汚れた吸引システムを洗浄 - 感染をしっかりと予防
- 50倍希釈で使用
- 高い洗浄力で、手の届きにくい箇所の汚れや頑固な沈着物もしっかり取り除きます
- アルデヒド非含有の第4級アンモニウム化合物ベース

弊社では社内外における綿密な科学的研究に基づき、最新情報に従って薬品類に対する推奨を行っています。これに関する責任範囲が記された「一般販売および納品における免責条項」をお求めの場合は、弊社までご連絡ください。

使用方法

毎日1～2回、診療終了後や昼休み前にも使用してください。専用容器「オロカップ」で希釈液を作ります。水1L 毎に黄色のボトルキャップの内線（20mL）まで原液を入れると50倍希釈液ができます。バキュームや排唾管はユニット毎に1Lの希釈液を吸引させます。より高い洗浄効果を得るには除菌の前に2Lの水を吸引させてください。スピットンの除菌には希釈液を約1L 流し込んでください。希釈液使用後60分以上放置、または次の診療まで水洗ししないでください。

環境保護

バイオクリーンはOECD生分解試験301Dの基準に従って簡単に生分解可能。また、容器はポリエチレン製となっており、再利用可能です。リサイクルの際には、容器を水で洗い流してください。

物理的データ

濃縮液の外観 黄みを帯びた透明の液体

濃縮液の密度 $D=1.09\pm 0.02\text{g/cm}^3$ (20°C)

濃縮液のpH値 12.8 ± 0.3

希釈液（50倍）の外観 無色透明の液体

希釈液（50倍）のpH値 10.5 ± 0.5

使用期限

濃縮液 製造から3年間。容器記載の使用期限を守ってください。

希釈液 1日

ボトルサイズ

1L

保管

できるだけ低温（ただし5°C以上）で保管してください。

アクセサリ

オロカップ活用容器

一般注意事項

手術後は冷水を断続的に吸引してください。

適用	希釈	有効時間
吸引システム除菌・洗浄 表面／器具除菌におけるドイツ防疫協会DGHM ^{※1} の認定取得	50倍	5分
バクテリア、真菌類 ^{※2}	50倍	5分
結核菌	50倍	60分
黒麹菌	50倍	60分
B型・C型肝炎、HIVを含むワク シニアウイルス ^{※3}	50倍	10分
アデノウイルス	50倍	30分
ノロウイルス ^{※4}	50倍	15分

※1 DGHM＝ドイツ防疫協会

※2 カンジダアルビカンス菌での実験結果

※3 ドイツ国立ロベルト・コッホ研究所（RKI）の推奨事項に基づく
（ドイツ健康白書2004年号47、62～66）

※4 ネコカリシウイルス（FCV）での実験結果

安全上の注意事項

商品ラベルに記載の注意事項を守ってご使用ください。

専門家による個別診断

独立機関における個別診断をご希望の場合は、ご連絡ください。

毒性試験

ラットの急性経口毒性 (LD50) 値は2000mg/kg体重を上回っています。ラットの急性経皮毒性 (LD50) 値も同じく、2000mg/kg体重を上回っています。この結果、バイオクリーンは「毒性なし」に分類されます。50倍の希釈液が眼に入った場合、皮膚に接触した場合と同じく刺激性はありません。また、バイオクリーンには感作性もありません。

専門家による個別診断

オトトルプラス-専門家による鑑定: グラーツ医科大学衛生学研究所所長マルト教授-DGHM (ドイツ防疫協会) 規定2001 (01/07) に準拠した医療機器除菌剤の鑑定、ピッテン医学博士 (ギーセン) -DGHM (ドイツ防疫協会) 規定2001 (11/06) に準拠した医療機器除菌剤の鑑定、グラーツ医科大学衛生学研究所所長マルト教授-DGHM (ドイツ防疫協会) 規定2001 (09/05) に準拠した表面除菌剤の鑑定、ピッテン医学博士 (ギーセン) -DGHM (ドイツ防疫協会) 規定2001 (02/06) に準拠した表面除菌剤の鑑定、ブリル理学博士 (ビショフスホーフェン) -EN13727 (03/05) に準拠した真正細菌殺菌効果の鑑定、ブリル理学博士 (ビショフスホーフェン) -EN13624 (03/05) に準拠した殺菌効果の鑑定、ブリル理学博士 (ハンブルク) -EN13624 (08/06) に準拠した黒麹菌に対する殺菌効果の鑑定、ブリル理学博士 (ハンブルク) -EN14348 (09/05) に準拠した結核菌殺菌効果の鑑定、ブリル理学博士 (ハンブルク) -EN14562 (08/06) に準拠した黒麹菌に対する殺菌効果の鑑定、ブリル理学博士 (ハンブルク) -EN14563 (10/06) に準拠した結核菌殺菌効果の鑑定、ギーセン医科大学ヴィレ教授/フェルバー農学博士-ヒト型結核菌に対する殺菌効果の鑑定 (03/97)、ピノー博士/リピオレット准教授 (マルセイユ) -EN1040 (09/02) に準拠した真正細菌殺菌効果の鑑定、ピノー博士/リピオレット准教授 (マルセイユ) -EN1275 (09/02) に準拠した殺菌効果の鑑定、シュタインマン医学博士 (プレーメン) - (被膜性) ワクシニアウイルスに対する効果の鑑定 (06/97)、シュタインマン医学博士 (プレーメン) -牛ウイルス性下痢ウイルスの検査によるC型肝炎ウイルスに対する効果の鑑定 (10/01)、シュタインマン医学博士 (プレーメン) -ASTM (アメリカ材料試験協会) 基準E2197-02に基づいた単純ヘルペスウイルスに対する効果の鑑定 (08/06)、シュタインマン医学博士 (プレーメン) - (無被) アデノウイルスに対する効果の鑑定 (09/96)、シュタインマン医学博士 (プレーメン) -EN14476 (04/08) に基づいたネコカリシウイルス (FCV) におけるノロウイルスに対する効果の鑑定、ブリル理学博士 (ビターフェルト) -ラットの急性経口毒性についての鑑定 (06/97)、ブリル理学博士 (ビターフェルト) -ラットの急性経皮毒性についての鑑定 (11/96)、ブリル理学博士 (ビターフェルト) -2%の希釈液によるウサギのドレイズ試験 (急性眼粘膜刺激性) についての鑑定 (10/96)、マーブルガー獣医学博士 (ヴァルスローデ) -モルモットの感受性増強効果についての鑑定 (10/06)、ゾネンシャイン獣医学教授/ハマン生物学士 (バート・バクレ

ット) -OECD規定301Dに準拠した生分解性についての鑑定 (03/97)。ユングハンス理学博士 (シュリーレン) -OECD規定202に準拠した急性ミジンコ毒性についての鑑定 (04/08)。

オトトルプラス-個別診断: orochemie、ヘアアマン理学博士/ブラウナー工学士 (コーンヴェストハイム) -オトトルプラスの化学的適合性検査 (02/97)。

独立機関における個別診断をご希望の場合は、ご連絡ください。